

# 1 狭山の略年表

年号	西暦	できごと	
旧石器時代	BC 11000	このころ根岸の西久保遺跡が作られる。	
縄文時代中期	BC 3500	このころ入間川の両岸台地上を中心に、笹井の宮地遺跡をはじめとする多くの集落が作られる。	
古墳時代後期	600	このころ上広瀬古墳群が作られる。	
霊亀 2. 5. 16	716	武蔵国に高麗郡が設置される。	
神護景雲 2. 7. 11	768	入間郡出身の物部直広成、入間宿彌の姓を賜る。	
嘉祥 3. 6. 3	850	広瀬神社が官社に列せられる。	
寛平年間	889～898	このころ女流歌人伊勢により、「ほりかねの井」の歌が詠まれる。	
元暦元 5	1184	源義仲の嫡男清水冠者義高、入間川で討たれる。	
元仁 2. 2	1225	このころ入間川が宿場として成立する。	
元弘 3. 5. 11	1333	新田義貞、小手指原で幕府軍と戦い入間川に陣を敷く。	
観応 3. 2. 28	1352	足利尊氏、新田義興・義宗と入間川などで戦う。	
文和 2. 8	1353	鎌倉公方の足利基氏、新田氏の動きを牽制するため9年に及び入間川に滞陣する。	
応永 20			
文明 14	1413	このころ柏原に増田を名乗る槍鍛冶が誕生する。	
天文 6. 7. 15	1482	聖護院門跡の道興准后、笹井の観音堂を訪れる。	
	14. 9. 26	1537	北条氏綱、東三ッ木に出陣して上杉朝定の河越城を奪う。
永禄 8. 4. 28	1545	上杉憲政、柏原の城山砦に陣を敷き河越城を包囲する。	
	10. 10	1565	北条氏、柏原鍛冶師に対し年間20挺の槍製造を命じる。
天正 16. 1. 8	1567	神田を名乗る柏原鋳物師が活躍をはじめめる。	
元和～寛永	1588	北条氏照、笹井の観音堂配下の山伏に対し軍役を命じる。	
寛文 6	1615～44	徳川家光、鷹狩りに際したびたび広福寺を訪れる。	
	9. 6. 4	1652～55	このころ堀兼村、上赤坂村、中新田が川越城主松平信綱により開発される。
元禄 3. 12. 12			
享保 19. 3. 25	1666	水野村が川越城主松平輝綱により開発される。	
寛保 2. 8	1669	日光街道根岸村の助郷として広瀬村、笹井村が指定される。	
	1690	入間川村と広瀬村の間で村境争論が起こる。	
宝暦 9. 4	1734	下奥富村と柏原村の村境争論につき、幕府裁許状が下りる。	
	1742	大雨により入間川が氾濫、上広瀬村、下広瀬村、上奥富村、下奥富村などに大被害が出る。	
明和 2. 1. 2	1759	北入曾村から七曲井の修復願いが出され、現用井戸として最後の工事が行われる。	
	1765	入間川村の豪商綿貫家、伝馬騒動により打ち壊しにあう。	

年 号	西 暦	で き ご と
文化 8	1811	根岸村・黒須村間の日光街道に渡し船が設置される。
文政 3	1820	大干ばつにより市域各村の米作に被害が発生、収穫不能に陥る。
天保年間	1830～44	このころ狭山茶の生産が市域各村で本格的にはじまる。
慶応 2. 6	1866	武州一揆発生、南入曽村、上広瀬村、笹井村の富農が打ち壊される。
2. 7	1866	堀兼村、水野村、上赤坂村、中新田など 19 か村、川越藩による農兵取り立て反対を唱え騒動を起こす。
4. 5. 23	1868	笹井村で官軍と幕府軍が衝突、飯能戦争が起こる。
明治 4. 11. 14	1871	入間県が設置され、市域村々はすべて同県に属す。
6. 6. 15	1873	入間県と群馬県が合併して熊谷県が誕生する。
7	1874	市域各村に小学校が設立される。
9. 8. 21	1876	熊谷県が廃止され、旧入間県は埼玉県と合併する。
9. 10	1876	上広瀬に県内最初の機械製糸工場が設置される。
12. 3. 28	1879	三ツ木村が東三ツ木村となる。
22. 4. 1	1889	町村制の施行により、入間川村、入間村、堀兼村、奥富村、柏原村、水富村が誕生する。
24. 8. 15	1891	入間川村が町制を施行する。
26. 3. 26	1893	入間川町が大火、100 戸余が焼失する。
28. 3. 21	1895	川越・国分寺間を結ぶ川越鉄道が開通、入間川駅、入曽駅が開業する。
34. 5. 10	1901	入間川・飯能間を結ぶ入間馬車鉄道が開通する。
43. 8	1910	未曾有の大雨により関東各地で河川が氾濫、水富村、柏原村、奥富村で大被害を出す。
大正 元. 11. 16	1912	大正天皇が入間川町に行幸、稲荷山で陸軍特別大演習を統監される。
2. 7. 9	1913	入間川町に最初の電灯がともる。
10. 12. 1	1921	水富村で小作争議が起こる。
12. 8	1923	富士見橋（現本富士見橋）が完成する。
15. 11	1926	入曽・川越間を結ぶ丸慶バスが営業をはじめる。
昭和 3. 11. 31	1928	入間銀行、経済恐慌のあおりを受けて営業を停止、武州銀行に合併される。
5. 6. 16	1930	豊水橋が完成する。
5. 7. 1	1930	県立農事試験場入間川園芸部が開場する。
8. 4. 1	1933	稲荷山公園駅が開業する。
13. 12. 10	1938	陸軍航空士官学校が移転開校する。
14. 6. 1	1939	コンクリート製の笹井堰が完成する。

年 号		西 暦	で き ご と
昭和	16. 4. 1	1941	尋常小学校が国民学校となる。
	18. 3. 26	1943	入間川町豊岡町ほか7か村合併不成立に終わる。
	20. 5. 25	1945	笹井が空襲され、死者12人、焼失家屋61戸を出す惨事となる。
	20. 8. 15	1945	敗戦。陸軍航空士官学校で、徹底抗戦を叫ぶ青年将校が反乱を起こす。
	20. 9. 13	1945	米軍が陸軍航空士官学校に進駐、のちジョンソン基地となる。
	20. 10. 15	1945	稲荷山公園（旧ハイドパーク）が戦後占領される。
	22. 4. 1	1947	六三制施行により、中学校が設置される。
	22. 9. 15	1947	カスリン台風来襲、柏原村、水富村が大被害をこうむる。
	23. 9. 15	1948	県立川越高校入間川分校が開校する。
	25. 8. 6	1950	入間川七夕まつりに工夫をこらした竹飾りが登場、現在の七夕まつりの原形を作る。
	29. 3. 18	1954	入間川町ほか5か村による町村合併研究会が結成される。
	29. 5. 29	1954	新市の名称を狭山市とすることが決まる。